

て施こし、極めて暗い處に反對色を用ひるものにや三 本年冬期 水彩畫講習會ありや(畫狂者)◎一 大家の眞面目に畫いたものなら摸寫も相應に利益あれど、實物寫生に如かず、詰らぬものゝ模寫は大害ありて一利なし二 蔭影の色はそんな單純なものではない、充分研究自得すべし、希くは『寫生畫の研究』を一讀され

たし三 來年一月二日頃より五日間徳鳥市に於て開かるゝかも知れぬ四 中學卒業後美術學校へ入學すると研究所に於て勉強すると何れが進歩早きや二 多くの先輩の繪を見るは有益なりときげと年二回の展覽會のほか繪を見る機會なし何か方法なきや(SI生)◎一 美術學校へ入つてゐたならどんな人でも五年目には自然に卒業する、私立の研究所では殆ど卒業期が極まつてゐない、美術學校では出来る人も出来ぬ人も一樣に教育をうける、研究所は腕次第、どちらがよいとも言へぬ、自分で選ひたまへ二 常設美術館なき日本では、今の處止むを得ざるべし、但願書さへ出せば小石川の水彩

畫研究所に開かるゝ毎月第四日曜日の月次會に出席し得べし、陳列の繪畫は多く生徒の作品なれども眞面目の研究になりしもの故却々利益する處多からん

紹介

◎幽學全書 田尻稻次郎編纂

神田表神保町 同 文 館

菊判クロス美裝五六頁定價壹圓五

十錢

大原幽學は近代の聖人にして、其名甚しく世に傳はらずと雖も、學識廣汎人格高俊一世に冠たり。偶々田尻博士、高木千次郎氏を起して幽學の事蹟を蒐集し、其遺訓を集めて幽學全書一卷をなす。聖賢の言は時の古今と地の東西を問はず、尊重すべし、されば自ら修養せんと希ふの士は、此書を再讀三讀せよ、得る所必ず大ならん。

◎少年少女物語 沼田笠峯氏の著すとこゝろ、三百頁に近き四六版の美しい本で、中には二十あまりの面白い物語がある、丁度尋常四五年から中學一二年迄の人に喜ばれるもので、挿繪は太田三郎君が畫

いてゐます(定價六十錢神田表神保町同文館)

◎寫眞月報展覽會號 本年五月上野に開かれた展覽會中の傑作十五枚を眞寫銅版にしたもの、それに畫評が添へてある、面白い圖柄も澤山あつて、寫眞界の進歩がよく分かる(定價六十錢日本橋本町二丁目寫眞月報社)

◎旅より旅へ 吉江孤雁著(定價四十五錢神田裏神保町光風館發行)これは次號に紹介します。

日本水彩畫會新會友

新潟縣三島郡片貝村高梨 岡村 準治
 千葉縣山武郡鳴濱村白幡 藤田 勝吉
 山口縣都濃郡花岡町 小幡 一夫
 福井縣坂井郡大石村井向 水島文五郎
 福井縣敦賀郡黒川尋常小學校
 輕部 清助
 福井縣坂井郡坪江村笠岡 三上助之丞
 京都相國寺中玉龍庵内 佐藤恭次郎
 京都五條橋東六丁目二十七山口萬治郎
 栃木縣喜連川町四三 大村松之助